

令和3年度事業計画

1、全体の事業

- (1) 柏崎市シルバー人材センターは「公益性を重視した公益社団法人」のセンターとして、市民生活に密着した活動を通して地域社会に貢献する
- (2) 役職員及び会員一丸となり普及啓発に努め、事業の拡大を図り、会員の増員、スキルとモラルの向上、就業意識の高揚を図るとともに事業に必要な補助金等の確保に全力をあげて取り組む
- (3) センターは、会員が働く事、社会貢献をする事により生きがい感や達成感を得られる所であるよう、時代に即応した事業を推進するとともにコンプライアンス、リスクマネジメントを強化する
- (4) 全国から注目されている、きらっと光る良いお店「新潟県知事賞」、内閣府「社会参加章」を受賞した「シルバーふれあいサロンやまゆり」をより一層、会員、市民、商店街に溶け込ませ、拡充を図る
- (5) 遊休地、耕作放棄地の有効活用と地消地産・食育の推進、直売所やまゆり、障がい者支援施設との共業を行い、農福連携、6次化に向けたみんなの農場事業を行う
- (6) 労働局の指導に基づき適切な契約処理を行い、請負・委任になじまない仕事については労働者派遣事業として推進する。また、必要に応じ有料職業紹介を行う
- (7) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業、日常生活支援総合事業を推進する
- (8) 事故ゼロを目指し、パトロールや研修を行い、会員自身の健康管理を推進しながら、より一層安全就業に努める
- (9) 柏崎市より指定された管理者として、ワークプラザ柏崎の管理運営を行う
- (10) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、派遣事業に特化した人材の掘り起こし、雇用就業先の確保、高年齢者の就業機会の拡大を図る
- (11) 介護・子育て・製造業などの人材不足分野に向け、働き方の提案などを含めた派遣等を推進するとともに、法令改正に伴う業務拡大に対しても柔軟に対応する
- (12) 適正就業の観点から庭木・除草作業を積算基準に基づく完全請負化で行う
- (13) 買い物支援、空き家対策、高齢者生活支援などを視野に、公民の連携を図る
- (14) 仕事の切り出し、多様な働き方に対応する仕組みを構築し「元気なシニアが、地域社会を、生きにくさを抱えた人達を、子ども達を支え、自らも生きがいを感じる街づくり」に貢献するため、柏崎市と共に協議会を設置し厚生労働省の「生涯現役促進地域連携事業」に着手する
- (15) 「順応」をキーワードにコロナに負けない体制づくりと感染拡大防止を図る

2、組織活動

理事会 原則として毎月開催（ただし議題のない場合は中止）

広聴広報部会

(1) 「シルバーだより柏崎」の発行 年2回実施

第122号 9月15日 8ページ

第123号 4月15日 12ページ

① 編集方針

ア. 「シルバーだより柏崎」の見やすい親しみのある会報を目指す（読みやすく写真を多く）

イ. 事務局・理事会の動き、事業計画・報告、各地区活動の状況、いきいき就業体験やシルバーめい人登場、部会活動の紹介、シルバー人材センター事業のPR、ワークプラザ柏崎のPRなど

ウ. シルバーめい人登場では、様々な自慢や特技をお持ちの方を紹介していますが、今年度から「私のじまん」も募集し、仲間を広げる・話題を広げる等のチャンス作りをする

② 「シルバーだより柏崎」の周知

ア. ホームページに「シルバーだより柏崎」を掲載する

(2) メディア活用

情報収集及び発信

(3) 周知活動

イベントチラシ作成

フレンドショップの情報提供

(4) 入会案内資料等のPR

企画推進部会

(1) 新規事業の立案と既存独自事業の拡充

① 新たな独自事業を模索し、その実現に取り組む。

② 「やまゆり」など既存の独自事業を見直し、新たな拡充策の提案を行う。「やまゆり委員会」の運営に協力する。

(2) 会員増強と事業推進の営業活動

- ① 他部会と連携し、会員獲得及び受注獲得に有効なPRツールを考案して、広く活用する。
- ② 誰もが参加できるイベントなど、効果的な会員獲得策を考案・実践していく。
- ③ ボウリング同好会の立ち上げに協力し、会員相互の親睦を図るとともに、自主的な運営を行えるようサポートする。

(3) 会員のスキルアップのために

- ① 資質向上が図れ、且つ参加拡大が図れる研修会を、自主性を以って企画運営する。
- ② 豊富な知識や多くの知見を有している会員へのフォローアップ教育のサポートをする。
- ③ 「スマホ教室」のような、今のニーズに合った講座を提案していく。

(4) 会員の親睦を深めるために

- ① 参加したくなる、魅力ある研修旅行を企画する。
- ② 多数の会員から参加してもらえる会員忘年会とする。
- ③ 「クリーン作戦」の他、新たに全会員を対象とした、ボランティア活動を検討する。

安全衛生部会

(1) 重点目標

「点検・声かけで事故防止、健康で無理せず安全就業」
つもり・はず・たぶん・だろが事故のもと

(2) 実施計画

今年度のテーマは「マナーとルールを守って事故ゼロを目指す」です。
現場事前確認と作業手順を全員で共有し、班内の意識統一を図り、会員としてのマナー、守らなければならないルールを再認識し、「一人一人の言動がシルバー全体の評判になることを意識して行動しよう」を合言葉に、安全就業を進めていきたいと思えます。また、昨年度から始まった、模範となる班に発行する安全マーク（★印）の一層の周知を図ります。

① 組織を生かした意識啓発

ア. 安全・適正就業推進委員への協力要請

- ・職群班及び安全推進員全体安全研修会（3月）
- ・地区委員長会議（適宜）
- ・地区研修会（適宜）

- イ. 安全衛生部会の開催（適宜）
 - ・安全パトロールの検証
 - ・安全対策についての検証
 - ・事故発生時の対応
- ウ. 職群班ごとに安全担当会員を選出、自己管理を徹底

② 主な安全就業対策

- ア. 作業前朝礼の実施と事前点検 安全・適正ミーティングチェックシートの活用徹底
- イ. 指さし呼称の徹底
- ウ. 機械器具、安全保護具の点検整備、装着点検（安全就業パトロール時に実施）
- エ. 就業現場の総点検
 - ・安全就業パトロールを各班に年2回実施
- オ. 安全衛生部会による事故調査並びに再発防止の周知徹底
 - ・重篤事故時は専門家に依頼 情報を共有する
- カ. 高齢者運転事故防止に向けての安全運転講習会及び運転診断の実施

③ 安全・適正就業強化月間の取り組み

- ア. 安全意識啓発のための注意喚起
- イ. 資料配布
- ウ. 安全・適正就業推進研修会（県連合主催）への参加（開催時の場合）

④ 会員の健康管理について

- ア. 職群班毎に救急薬品の提供
- イ. 血圧器、ヘルスマーター、視力測定等による健康管理のすすめ（事務局に設置済み）
- ウ. 市民検診、個人検診による健康管理の徹底

⑤ その他の啓発活動

- ア. 声掛け運動の実施 朝礼時声だし運動シートを全員で唱和 指差呼称の実施
- イ. ヒヤリ・ハット報告書の募集
- ウ. 安全掲示板の設置（事故発生状況を掲示）
- エ. 安全就業シール配布
- オ. 安全意識の高い班には安全マーク（★）を発行
- カ. 情報の共有化、事故状況、外部からの注意喚起文章等を速やかに周知徹底
- キ. 安全就業通信の全会員配布（年2回）

- ク. 熱中症や凍結転倒防止等季節的な注意喚起（適宜）
- ケ. 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- コ. 就業先の明確化（家族への就業先の明示）
- サ. 他シルバーへ視察情報交換

女性活躍部会

- (1) 他部会と協力し、会員増強・拡大を図るためコロナ禍でも可能な限りのPR活動を実施する。
 - ・作品展示や公共施設等のパンフレット設置など
- (2) 就業だけではなく、魅力あるシルバー人材センターを感じられるように講習会を実施する。
 - ・手芸講習会、女性会員のつどい
- (3) 手芸の会のメンバーなどに声がけし、手芸や編み物など販売できる商品の出品を依頼、「やまゆり」の運営に協力する

3、ワークプラザ柏崎

- (1) 接客業の基本である親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上に努める
- (2) 稼働率を意識し、自主事業や営業活動で、新たな集客とリピーターの定着に努める
- (3) 市民が安心して利用できるよう、安全、衛生管理の徹底に努め、アンケートを実施して、お客様の声を反映させる努力を行う
- (4) 公共施設であっても利益を生む仕組みを構築提案し、指定管理料に反映させる
- (5) コロナ禍において正確な情報収集を行い、感染拡大防止対策を万全に行う

4、連携

- (1) 柏崎市、新潟労働局、新潟県労政雇用課及びハローワークとの情報交換を密に行う
- (2) 厚生労働省、全国シルバー人材センター事業協会、北信越シルバー人材センター連絡協議会、新潟県シルバー人材センター連合会及び他のセンターと連携し、主催事業に参加して情報交換と資質の向上を図る
- (3) 地元企業、団体と連携し地域課題に特化した地域貢献、社会貢献度の高い事業展開を行うとともに、人材不足分野へ施策を重点的に行う